

氏名	梅原 桂
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 3561 号
学位授与の日付	平成20年3月25日
学位授与の要件	医歯学総合研究科社会環境生命科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)

学位論文題目	Association of Work-Related Factors with Psychosocial Job Stressors and Psychosomatic Symptoms among Japanese Pediatricians (日本の小児科医における労働状況と職業性ストレス要因およびストレス症状との関連)
--------	---

論文審査委員	教授 荻野 景規 教授 森島 恒雄 准教授 吉永 治美
--------	-----------------------------

### 学位論文内容の要旨

仕事の要求度-コントロール-支援モデルによる職業性ストレス要因とストレス症状の指標を使って、日本の小児科医のストレスがどのような労働状況と関連しているかを横断的に調査した。日本小児科学会の登録名簿より無作為に抽出された3000名の学会員を対象に無記名の自記式質問票を郵送配布し、回答返送をもって調査への同意を得たものとした。回収された850名(回収率28%)のうち、週35時間以上労働しており完全回答の得られた590名を解析対象とした。暴露因子として7つの労働関連因子(労働状況)を、アウトカム因子としては「職業性ストレス簡易調査票」の一部の尺度であるストレス要因と「労働者疲労蓄積度チェックリスト」の一部の尺度であるストレス反応因子を調査した。労働関連因子の中で、労働時間は職業性ストレス要因とストレス反応に対する危険因子であり、残業のなかった労働日数はストレスからの回復を促す予防因子であることが、本調査で示唆された。

### 論文審査結果の要旨

日本の小児科医のストレスと労働状況の関係を、職業性ストレス要因とストレス症状の指標を用い、日本小児科学会の登録名簿より無作為に抽出された3000名の学会員を対象に、自記式質問票配布により、横断的に調査を行なった。その結果、粗解析では、週総労働時間を初めとするすべての労働関連要因は、ストレス症状と関連していたが、性別、年齢、勤務形態、雇用形態を調節すると、週総労働時間、残業のない日数、完全休日日数がストレス症状と関連し、さらに、週総労働時間を追加調節すると残業のない日数のみがストレス症状と関連していた。以上より、本研究は、日本の小児科医の労働状況について、労働時間は職業性ストレス要因とストレス反応に対する危険因子であり、残業のない労働日数は、ストレスからの回復を促す予防因子であることを示唆したものであり、労働衛生的に価値ある業績と思われる。よって、本研究者は、博士(医学)の学位を得る資格があるものと認める。